

2024年5月 (No.419)

主な内容とページ

激変する日本の半導体市場.....	1
地域別では米中が前年比3割近く増.....	2
大ジャンプのメモリ.....	2
半導体輸入、8四半期ぶりに1兆円割れ.....	3
ハイブリッド車の国内生産は1年半ぶり減.....	5
世界半導体企業41社、第1四半期業績結果.....	6
かつてない変化をみせる米半導体産業.....	10
増大する海外からの訪問客(SRL だより).....	13

激変する日本の半導体市場

高水準を謳歌してきた日本の半導体市場が、大きな曲がり角に入ったようだ。

- 今年第1四半期のわが国半導体輸入は1年前に比べ3割以上落ち込み、過去2年みられた高水準から転換を示した。
- 日本市場の半導体の伸びを下支えしてきた自動車生産は、第1四半期に2割減、伸びをけん引してきたハイブリッド車も1年半ぶりに落ち込んだ。
- 日本向け半導体市場は過去3年で7割近く伸びたが、コロナ期での品不足、極端な円安、輸入半導体への高い依存、車用の需要急増など要因が複雑に絡み、今後は調整が避けられないとみられる。

増大する海外からの訪問客

訪日外国人客が増えている。円安およびコロナ感染が一段落していることなど影響しているとか。私自身は山梨出身のことから富士山周辺に行くこともあり、近辺どこでも富士山目当てと思われる外国人客が目立つ。交通の便、安くて快適な宿泊施設、穴場めぐりなど SNS で得たと思われる情報を使い、楽しんでいるようだ。

「富士山とコンビニ」の撮影をめぐり訪日客のマナーが問題になり、地元が対策を迫られる問題が話題を呼んでいる。東京の渋谷の交差点でのカウントダウン騒動程ではないものの、内外問わず、どこでもみられる。地元にしてみれば迷惑だが、行政側も含め、事故なく穏便に収めることを望むしかないと思う。

訪日客は、日本の自然、文化、生活習慣など関心、期待を抱いている。日本の資源であり、欧米アジアの諸国のように一定の外貨収入として活用すべきと思う。これら収入は 23 年で 5 兆円前後とか。一方、わが国 IT 関連などデジタル赤字は 4.7 兆円、われわれの分野の電子機器赤字は 5.6 兆円、赤字は増大傾向、円安の一つの要因とされる。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2024 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2024 年 5 月 (毎月 1 回発行) 第 35 巻 5 号 (通巻 419 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2024

SRL Monthly Report

May 2024, No.419

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円 (税込み)